

## 第 37 回史跡めぐり 河津桜と城ヶ島

令和 5 年 2 月 2 8 日



今回の史跡巡りは、2年前に企画し実行直前に緊急事態宣言（新型コロナ）により中止になった、河津桜と城ヶ島にこの時期に行って来ました。

大宮駅から JR 上野東京ライン横浜駅で乗り換えて京急・三浦海岸駅で下車すると駅前広場には、数本の河津桜が満開のピンク色で明るく鮮やかに出迎えてくれた様で見事に咲き誇っていました。

ひとあし早い桜（河津桜）の桜並木と菜の花の黄色が線路沿いに長く続きます。グループで花見散策を約 40 分位観賞して駅に戻ると、これから向かう花見客で大勢の人で混み合っていた、この時期は三浦海岸桜まつりの開催中でも有り、またお天気も良く観光客が多かった様です。

城ヶ島、白秋碑前バス停で下車して、これから長い道のりが待ち受けていました。（今回、案内ガイド無し）向かったのは、自然の芸術品の「馬の背洞門」です、波や風雨の侵食によって岩にメガネ状の穴が開いた大きな岩です。途中で高台の眺望が出来る場所で一息つき、海に突き出した形に断崖を見ました、とても雄大で素晴らしくきれいに見えたのが「ウミウ展望台」です、ウミウも空に飛んでいるのを見ました。更に進み急な下り坂で海岸まで続きます。足場は悪く岩が出ていて所々に手すりが付いていても怖いくらいで、さらに強風が吹いていたので、特に女性陣には大変お疲れ様でした。やっと馬の背洞門に着き記念写真を取り、周りの景色を見ると海の上に浮いている様な富士山がきれいに見えました。その右端方角の遠い先に白い建物が有りこれから向かう城ヶ島渡し船場に歩き出しました、海岸の足元は砂と岩で歩きづらい道を歩き無事に城ヶ島の渡し場に着き、さらに船に乗り三崎港に着いた、目の前の「うらりマルシェさかな館」に入りお土産を買ったり見物したりしてから、食事をする店を探したが、どこも混んでいたのので三崎館本店で順番待ちをしました、この間に近くに在る史跡でもある海南神社に数名で散策行きました。相州三浦総鎮守 海南神社 創建 982 年（天元 5 年）食の神様をお祀りしている、包丁を供養するお祭りも行われているのが特徴だそうです。平安時代から鎌倉時代にかけて三浦半島で活躍した三浦一族や源頼朝とのゆかりが深い神社とされています。境内には節句時期なので、お雛様を所々に飾ってありなごみしました。

三崎港と言えまぐろです、昼食事は皆さん同じ「まぐろきっぷ膳」美味しく頂きました。そして帰路に着きました。

見頃の河津桜並木を見て、城ヶ島の奇岩・馬の背洞門、海からの富士山、渡し船で三浦港から海南神社をお参りして、おいしいマグロを食べた、内容的にはいろいろの要素が詰まっています、とても良かったと思いますが、史跡の場が少ない感じでした。

今回の運動量的には歩数は 12,000 歩位（約 8 km）でしたが登り下り有り足場も悪く風の中は、年配者には少しハードだったと思います。次回の行き先地には、考慮のほどよろしく願いいたします。

